

はせさんず

2023 秋号 NO.101

ニュース

2023年11月10日(金)発行
 NPO法人たすけあい大田はせさんず
 理事長 棧敷 洋子
 〒146-0082 東京都大田区池上4-28-3
 はせさんず(会員制) 03-5747-2610
 ヘルパーステーション 03-5747-2816
 ケアサポート 03-5747-2800
 デイホーム 03-5747-2660
 元気かい 03-5747-2605
 FAX専用 03-5747-2620

はせさんずは会員制のたすけあいの会です。入会随時受付!

NPOの非営利活動にご寄付ご支援をお願いします

はせさんずデイホーム コロナを越えて



↑敬老運動会：鉢巻をしめてくす玉割りを楽しむ

↓夏祭り：歌や踊りのボランティアさんの掛け声に合わせて



↓外出レク：東扇島海浜公園で海と空と飛行機を見ながら



デイホームでは「夏祭り」を7月24日(月)から29日(土)まで、「敬老運動会」を9月11日(月)から16日(土)まで、それぞれ5日間にわたって開催。コロナ感染予防のためで、きなかつたデイホームの恒例行事が戻ってきました。外出レクリエーションも引き続き実施しています。これからも感染予防対策をしながら、利用者の皆様がデイホームで楽しく有意義にすごされるよう努力していきます。

■皆様のご寄付に支えられて
 たすけあい大田はせさんずは、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与したいと、会員制たすけあい活動をはじめ、介護保険、障害福祉サービス、介護予防の各事業など活動の場を広げてきました。
 しかし、私たちのささやかな活動が地域の中で広く定着していくことを通じて、新しい市民社会の構築に寄与していくためには、しっかりといたれば幸いです。

財政基盤の上に立った持続性のある活動が必要です。これまでも皆様のご寄付によって私たちの活動は支えられてきました。『百日草』にも報告しましたが、2022(令和4)年度寄付者は45名、総額345万円を超えています。今年も、皆様のさらなるご支援をお願い申し上げます。

■最近の活動から
 寄付者のお気持ちを大切にしながら、これからの法人運営に充てたいと存じます。
 養護施設で育った若者の自立生活を支援していますが、気づくのは、特に金銭管理が難しいということ。働いて給料が入るにもかかわらず、のべつ食べ物が増えて体調を崩す、友達と遊びに行つて手持ちのお金を一度に使つてしまふ、せっかくなかぬ持物

2023年度寄付キャンペーン中
はせさんずにご寄付ご支援をお願いします
 理事長 棧敷洋子

はせさんずにご寄付いただく場合は以下の方法をお願いします

- 郵便振替 (郵便局に備え付けの「払込取扱票」)
 加入者名：大田 はせさんず
 口座記号：00190-1 口座番号：162896
- 銀行振込
 三井住友銀行 蒲田西支店 普通 口座番号：6617491
 口座名義：特定非営利活動法人たすけあい大田はせさんず
 理事長 棧敷洋子
 口座名義カナ：トクビタスクアイトオカセサンズ リジチヨウ サンジキョウコ
- 現金書留 事務局 乙部 宛

池上まつり参加

8月27日(日)、池上まつりが開催され、はせさんずも模擬店を出店しました。好天に恵まれ4年ぶりとあって人も多く、デイホームが用意した飲み物や手作



りの小物などがとぶように売れました。ラムネや駄菓子、消しゴムくじが子どもたちに大人気。また、模擬店のなかに、はせさんずが東京都から補助金を受けて実施している「ヤングケアラー支援」を紹介するため「お友達登録」を勧めるコーナー

と「今日の料理には使わないからゆつくりやってみてもらう」との応えでした。後から考えると、できる力を生かす自立に向けた支援だったことが理解でき、よい実習になったことを今でも覚えています。若い頃は障害児・者の移動支援に携わり、山手線に乗り一周しても「降りたくない」と言われてもう一周したり、電車で利用者の隣に座った人から優しく話しかけられ「よかったら食べな」と差し入れを渡されたりしたこともありました。一人ひとりの障害特性に適した対応に当惑することもありましたが、外出の先々

ナーを設置しました。ここにも多くの人が立ち寄って、話を聞いてくれました。ZASSOU(ざっそう)が活動開始
現在、棟敷理事長は大田区訪問介護事業者連絡会の会長職にあり、事業所間の情報交換や連携に努めています。本年10月に「雑談+相談」の頭文字を掛け合わせた「ZASSOU会」を連絡会主催の地区別懇談会として発足。人材不足のなか今後、訪問介護事業所間の同職種連携は重要です。ざっくばらんにコミュニケーションしながら雑草のように地域に広がって、介護業界全体の底上げにつながることを期待しています。

ヘルパー活動日誌 佐伯ひで子



ボランティア活動に興味をもち「はせさんず」の事業理念「年をとってもこの街で暮らしたい」に共感し、ヘルパーとして活動を始めて早20年になります。訪問介護実習で利用者がモヤシのヒゲ根を丁寧にちぎり取っている様子を見て、同行した指導者に「お手伝いしましょうか?」と聞く

で目をキラキラさせる利用者の満足そうな笑顔に支えられ楽しく支援できました。現在は訪問介護に携わっています。利用者への挨拶をしながら顔色やしぐさ、表情から変化を汲み取り、会話しながら体調把握するように心がけています。介護現場は十人十色、支援内容も多岐にわたります。学ぶところは多くあります。利用者から「助かった、ありがとう」の温かい一言が励みになっていきます。これからも利用者が住み慣れた地域で自立した日常を送れるような支援に努め、コミュニケーションにも意識を向けていきたいと思っています。

と「今日の料理には使わないからゆつくりやってみてもらう」との応えでした。後から考えると、できる力を生かす自立に向けた支援だったことが理解でき、よい実習になったことを今でも覚えています。若い頃は障害児・者の移動支援に携わり、山手線に乗り一周しても「降りたくない」と言われてもう一周したり、電車で利用者の隣に座った人から優しく話しかけられ「よかったら食べな」と差し入れを渡されたりしたこともありました。一人ひとりの障害特性に適した対応に当惑することもありましたが、外出の先々



2024年版カレンダー
A4サイズ 1部700円
お申込は、事務局まで
写真は2023年版

会員制たすけあい移送サービス 活動会員募集

- ・普通免許でOK
- ・自家用車またははせさんずの車両を使用できます
- ・指定の研修(1日程度)受講料は法人負担
- ・謝礼 1時間850円から

問い合わせ 内山、佐藤へ



交通安全表彰
はせさんずは、交通安全対策を推進し、適正な車両管理に努めて、交通安全に貢献している優良事業所として、池上警察署から感謝状を授与されました。また、活動会員の小平康人さんが優良運転手として表彰されました。

はせさんず各部門スタッフより 聞いて! 聴いて!

会員制たすけあい活動
最近、テレビや新聞等の記事で毎日のようにバスやタクシーの運転手不足が報じられます。私が担当している移送サービスも活動者不足のため、サービスの依頼すべてにはお応えできないのが現状です。皆さんの周りに車の運転が好きで誰かの役に立ちたいと思う方がいらしたら、ぜひ移送サービスをお勧めください。事務局には新しいスタッフも加わりましたので、活動者も増えてほしいと願うばかりです。(内山善太)

ヘルパーステーション
コロナは5類になり、マスク着用は個人の自由になりましたが、今夏も感染者は増え、まだ後遺症に悩む人も多。感染予防は継続中です。また、猛暑日が続くなか熱中症のためか救急車をよく見かけます。利用者宅のエアコンの温度設定違いや故障などハプニングがあり、ヘルパーからの連絡でサ責が飛び回ることもあり。熱中症対策は水分補給も大事ですが、エアコンなど室内環境の整備も大事です。(笹口文大)

ケアサポート
はせさんずの玄関には、小スペースながらたくさんの植物が植えられていて、季節ごとの花や緑が職員やご利用者を迎えてくれます。梅、サザナ、菊、オリーブ、ドラゴンツツ、ミコバ、アロエなど多肉植物も…。なかでもクリスマスローズは大好きな花です。寒い冬、ひっそりと下向きに咲く白い花は美しく健気。花言葉は「不安を取り除く」「慰め」。風水的にも魔除けの効果があるそうで、そんな花々に守られて(?)働いています。(平山明美)

デイホーム
「ちょっと待ってくださいね」一日に何度か耳にし口にする言葉。ごめんなさいと思いつつ、人手が足りず待たせしてしまう。こんなときご利用者は「いいよ、いいよ、みんな忙しいんだから」と不満を言わず、逆に温かい言葉を返してくれます。人手不足でも「待つ」と言わないためには、目配り気配りのチームワークが必須。「はせさんず」の名の通り、待つと言わず馳せ参るチーム作りをめざします。(蔵野明子)

市民後見
公正証書「継続的見守り契約・委任契約」に基づき毎月利用者宅へ訪問を実施中。そこでの会話から利用者の困りごとや課題を聞きながら、判断能力の変化にも注意。楽しい話、悲しい話、専門的な話など訪問先の方々の人生経験、自分とは違った世界観や物の見方などに毎回感銘を受けています。もし判断能力に支障が出たら後見へ申立てができるようにしたい。いつまでもその人らしい人生をすごせるために!(佐藤 悟)